

OECD/NEA に新たに設置された The Expert Group on Medical Radioisotopes (EG-MR) への委員推薦について

令和8年2月10日

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局
原子力政策推進室

1. 経緯

昨年9月、経済協力開発機構／原子力機関（OECD/NEA）の原子力開発・核燃料サイクルに関する技術経済研究委員会（NDC）は、新たに The Expert Group on Medical Radioisotopes（EG-MR）を設置することを決定した。

この EG-MR は、NDC の活動のうち医療用 RI に関するものを推進し、特に以下の活動を行う予定。

- 従来型および新規の、医療用RIの安定かつ持続可能な供給を促進する
- 生産、需要、供給システムに関する技術的・政策分析を支援する
- イノベーション、医療システム統合、国際協調に関する主要な課題と機会を特定する
- 医療、原子力、規制及び政策分野のステークホルダー間の対話を促進し、連携を強化する

今般、OECD/NEA より、本 EG-MR のメンバーとして、日本から専門家を推薦してほしい旨の依頼があったところ。（第一回会合は4月を予定）

2. 方針案

「医療用等ラジオアイソトープ製造・利用推進アクションプラン」の策定に向けた検討など、当委員会において医療用 RI に係る議論を牽引してこられた畠澤順参与を、EG-MR の委員に推薦することとした。